

食育だより

平成30年6月6日

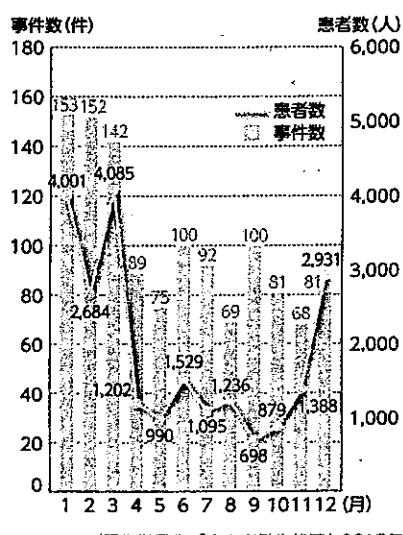
福島立若松商業高等学校 保健厚生部

今年度は10月に公開文化祭があります。飲食物の提供を希望するクラスや部活動もあるかと思いますので、今回は、食中毒や食物アレルギーについてお知らせします。

1 食中毒について

先日、いわき市の大型ホテルにおいて食中毒が発生しました。食中毒は夏季に発生しやすいと考えがちですが、実は一年を通して発生しています。5月から9月にかけての高温多湿の時期には、「O-157」や「カンピロバクター」が、気温が下がり空気が乾燥する冬季には「ノロウィルス」が発生しやすくなります。

【月別食中毒発生状況】



(厚生労働省「食中毒発生状況」2015年)

『スーパー・ライブビュー』東京書籍より

●食中毒予防のポイントは

- 菌等を
- | | | |
|--------|---------|---------|
| 1 付けない | 2 増やさない | 3 生かさない |
|--------|---------|---------|

食中毒の原因	感染源	特徴と対策
サルモネラ属菌	鶏卵 ペット	乾燥に強い菌。発熱を引き起こす。 卵の生食は新鮮な物に限る。
腸炎ビブリオ	魚介類	塩水に強いが真水や酸に弱いので、真水で洗う。室温で増殖。
腸管出血性大腸菌(O-157)	生肉 井戸水	熱に弱い。肉は中心まで加熱する。消毒された飲料水を使用する。
黄色ブドウ球菌	手 緒 の 傷	100°Cで加熱しても無毒化しない。手指や器具を清潔にする。化膿がある人は調理しない。
ポツリヌス菌	伍詰、真 空パック	土壤や河川に生息し、神経毒を生成。呼吸困難を招く。無酸素で増殖。容器の膨張に注意。
カンピロバクター	鶏肉 井戸水	少ない菌量で発症。風邪様症状。低温に強いが乾燥と加熱に弱いので、肉は十分加熱する。
セレウス	ピラフ カレー	嘔吐型はピラフ、パスタから、下痢型はカレーや弁当から発生。毒素は加熱しても死滅せず。
ウェルシュ菌	カレー煮 込み料理	加熱調理食品は冷却する。酸素に弱いので、カレーはかき混ぜて酸素と触れさせる。
リストリア菌	チーズ 生ハム	乳製品や生肉で発生。インフルエンザのような症状。重症化するので妊婦や高齢者は注意。
エルシニア	生肉 井戸水	サンドイッチや野菜ジュースからも感染。低温でも増殖。食肉は十分加熱して冷凍する。
ノロウィルス	カキ等の 二枚貝	冬季に流行。感染力が強く重篤化しやすい。十分加熱する。便や嘔吐物の二次感染に注意。

『家庭科55資料集』教育図書より

1 付けない	2 増やさない	3 生かさない(殺す)
<ul style="list-style-type: none">消費期限を確認する食品購入後、寄り道をしない野菜は流水で洗う 土はよく落とすまな板、包丁は洗剤で洗って熱湯消毒をするふきんは清潔なものに交換する	<ul style="list-style-type: none">帰宅後すぐ冷蔵庫に保管する石鹼で手を洗う長時間、室温で放置しない	<ul style="list-style-type: none">十分加熱する肉や魚は中心部分が 75℃で1分以上加熱する温めるときは十分加熱する。(カレーはかき混ぜて全体的に熱を行きわたらせる)

『スーパー・ライブビュー』東京書籍より

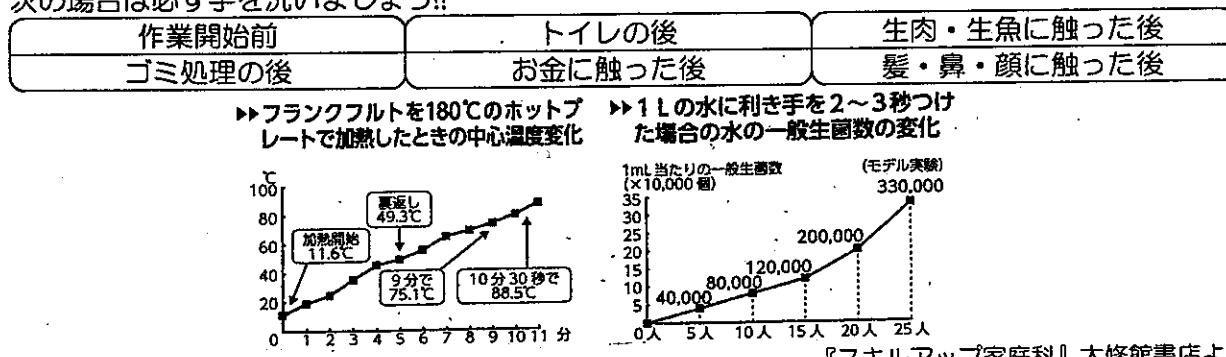
●本校の手洗い状況

平成30年1月に実施した本校の衛生調査では、トイレの後「時々手を洗わない」人は34人(6%)で「全く手を洗わない」人も2人いました。トイレ後「いつも石鹼で手を洗う」人は79人(14%)、「食前に手を洗う」人は63人(11.1%)とどちらも少なかったです。石鹼を使用しないと殺菌はできません。石鹼で手を洗うことは、食中毒や感染症予防対策の基本ですので、しっかり励行しましょう!!

●文化祭での人気メニューと食中毒

文化祭では、軽食や飲み物などを販売することも多いかと思います。その提供物が原因で食中毒になるということが絶対ないよう、保健所や担当教員の指示に従って、十分安全管理に努めてください。

- ★ フランクフルトをホットプレートで焼くときに、表面温度が75°Cとなっていても中心温度が75°Cに達するには10分以上の加熱が必要です。
- ★ 飲み物を冷やすための氷水に手を入れると、手の細菌で氷水が汚染されます。しっかり洗剤で手を洗うことが大切です。
- ★ 食品を扱う人は、簡易手袋を使用し、直接手で触れないようにしましょう!!
- ★ 次の場合は必ず手を洗いましょう!!



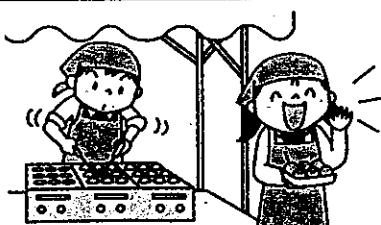
2 食物アレルギーについて

今から50年前には日本では「アレルギー」はほとんどありませんでした。しかし、現在では国民の3人に1人が何らかのアレルギーを持っていると言われています。工業化・文明化とアレルギーは密接に関係があるようです。それらのアレルギーのうち、摂取した食物が原因となり、免疫学的機序を介して、じん麻疹・湿疹・下痢・咳などの症状が起こることを食物アレルギーと言います。小児期に最も多い食物アレルギーは鶏卵によるもので、次いで牛乳が挙げられます。卵、牛乳の食物アレルゲンに占める割合は、年齢とともに減少します。一方、カニ、魚類、果物が食物アレルゲンに示す割合は、年齢とともに増加しています。

●アレルギー物質を含む食品表示

厚生労働省は平成13年4月1日より、アレルギー物質を含む食品表示を行うことを義務化しました。これは食品表示を適切に行うことによって、食物アレルギーによる健康危害を未然に防ぐためです。

10月の公開文化祭で飲食物を提供する団体の皆さんには、どの食品、どの料理に右記の27品目のうち何が原材料として含まれているかを、大きく明確に表示した物を販売場所に貼り出してください。



(図) 2014年10月号、日本学校保健研修会より抜粋)

A 法令で規定する

特定原材料 …
(7品目)

①卵 ②乳又は乳製品

③小麦 ④そば ⑤ピーナッツ
⑥えび ⑦かに

※①~⑦の食品は、微量混入・添加物のレベルでも表示義務がある。

B 表示を奨励する

特定原材料 …
(20品目)

あわび、イカ、いくら、オレンジ、
キウイフルーツ、牛肉、クルミ、鮭、
さば、大豆、鶏肉、バナナ、豚肉、
まつたけ、もも、やまいも、リンゴ、
ゼラチン、カシューナッツ、ごま

『生活ハンドブック』第一学習社より

参考 <http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/kenkou/ryumachi/dl/jouhou01-08.pdf>

3 「朝食について見直そう週間運動」 6月13日(水)～6月20日(水)

最終日の6月20日(水)に第1回朝食調査を実施します。平成29年6月は、3つのクラスが全員朝食を摂取してきました。一方、朝食欠食者は学校全体で21人いました。生活リズムや食事リズムを見直して、今年度はどのクラスも朝食摂取率が100%になるように声をかけ合いましょう！！